



映画「あん」は1996年のらい予防法廃止、2001年の熊本地裁判決で強制隔離は憲法違反と確定した諸問題を題材、ハンセン病差別が終わったわけではない事を訴えます。

今なお根強い差別と偏見、高齢を迎え苦難の人生を歩んできた元患者の行く末、遺族・家族への国家賠償責任問題。

ハンセン病ゆえに再審査請求が棄却された翌日に死刑執行されたFさんの冤罪など、問題は山積しています。

今回の上映会が皆様と一緒に考える機会になれば幸いです。

誰も気づかない、何気ない言葉の中に
それを「あん」は教えてくれる・・・

講演：森元美代治氏

- ・ハンセン病体験者・全生園入所者
- ・国家賠償請求訴訟原告団員、
- ・現IDEAJapan理事長、清瀬市在住



監督・河瀬直美 × 原作・ドリアン助川 × 主題歌・秦基博
日・仏・独合作。日本映画界最高のスタッフ&キャストが集結！

ドリアン助川の同名小説「あん」を、世界を舞台に創作活動を続ける監督・河瀬直美が映画化。日本を代表する女優・樹木希林をはじめ、抜群の演技力で独特の存在感を放つ永瀬正敏、樹木の実孫である新星・内田伽羅や、芸歴50年を超えようやく樹木との共演が実現した市原悦子など、豪華キャストで贈る、心揺さぶる作品がここに誕生した。



物語

縁あってどら焼き屋「どら春」の雇われ店長として単調な日々をこなしていた千太郎（永瀬正敏）。そのお店の常連客である中学生のワカナ（内田伽羅）。

ある日、「どら春」の求人募集の張り紙をみて、そこで働くことを懇願する一人の老女、徳江（樹木希林）が現れ、どら焼きの粒あん作りを任せること。徳江の作った粒あんはあまりにも美味しく、みるみるうちに店は繁盛。しかし心ない噂が、彼らの運命を大きく変えていく…。

「ひとこと」～社会福祉士とは？～

社会福祉士会は国家資格である社会福祉士の職能団体です。その内清瀬市と東久留米市の在住、在勤の有資格者の会員によって構成されています。社会福祉士は乳幼児から高齢者まで人生のあらゆる場面での障害、貧困、疾病、老人問題、権利擁護などのニーズに応えるため、相談・支援者として活動しています。

問題を抱えた方と一緒に課題を考え、整理し関係機関と連携して支援に繋げる福祉の専門職です。病院や施設の相談員、自治体の福祉関係部局で、あるいは個人的に独立事務所を通して地域の皆様の「困った事」に応える支援者として活動しています。最近では成年後見制度において福祉専門職として成年被後見人等の財産管理、身上監護の実務を担っております。

清瀬・東久留米社会福祉士会 文責 佐藤